

原水爆禁止2019年世界大会メッセージ

原水爆禁止2019年世界大会の盛大な開催をお祝い申し上げます。

広島、長崎に人類史上初めて原子爆弾が投下されて74年になります。一発の原子爆弾によって、一瞬にして街は廃墟と化し、多くのかけがえのない命が奪われました。

核兵器は、無差別に多くの尊い命を奪う殺戮兵器^{さつりく}というだけでなく、地球環境をも破壊し、投下後の生活さえも脅かすものであり、核兵器が存在する限り、人類の恒久平和はあり得ないと考えております。

今年5月に開かれた核拡散防止条約（NPT）運用検討会議の第3回準備委員会では、NPT発効50年という節目に開催される、2020年の運用検討会議に向けた勧告案等について議論が行われ、世界の人々の注目を集めました。

現代を生きる私たちには、次の世代に対して、真に平和な世界と美しい地球環境を引き継ぐ責務があり、そのため、核兵器のない世界を求める行動はとても重要なことと捉えています。

これからも、世界平和の実現のため、そして、核兵器のない世界の実現のために、共に努力をしていきましょう。

大会の成功と皆様のご健勝をお祈りいたします。

2019年8月

廿日市市長 眞野勝弘